



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月5日

上場会社名 株式会社UACJ 上場取引所 東
 コード番号 5741 URL <http://www.uacj.co.jp/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）石原 美幸
 問合せ先責任者 （役職名）財務本部副本部長・経理部長 （氏名）坂上 淳 TEL (03)6202-2600(代)
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 （機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	264,608	△15.9	△1,122	—	△2,609	—	△5,052	—
2020年3月期第2四半期	314,608	△4.9	3,428	△71.1	405	△94.6	△3,389	—

（注）包括利益 2021年3月期第2四半期 △10,070百万円（－％） 2020年3月期第2四半期 △5,312百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△104.74	—
2020年3月期第2四半期	△70.26	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	731,898	190,970	24.2
2020年3月期	752,785	202,716	25.0

（参考）自己資本 2021年3月期第2四半期 177,061百万円 2020年3月期 188,363百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
 詳細につきましては、本日（2020年11月5日）公表しました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		一株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	550,000	△10.6	3,500	△65.4	△3,500	—	△9,500	—	△196.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 詳細につきましては、本日（2020年11月5日）公表しました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	48,328,193株	2020年3月期	48,328,193株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	98,969株	2020年3月期	97,121株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	48,230,129株	2020年3月期2Q	48,235,439株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、中国を中心として一部回復の兆しはありますが、新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大の影響を受けて、不安定な状況が継続しております。国内経済においても、足元で一部持ち直しの動きが出ているものの、当社を取り巻く経営環境は、依然として不透明な状況にあります。

このような環境のもと、新型コロナウイルス感染拡大の影響による販売数量の減少やアルミ地金価格の下落等により、連結売上高は264,608百万円(前年同期比15.9%減)となりました。損益についても、販売数量の減少等により、連結営業損失1,122百万円(前年同期は3,428百万円の利益)、連結経常損失2,609百万円(前年同期は405百万円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失5,052百万円(前年同期は3,389百万円の損失)となりました。

セグメント別の状況については、以下のとおりであります。

アルミ圧延品事業

アルミニウム圧延品業界について、板類の国内需要は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が継続し、自動車を中心とした輸送用機械や電気機器、建設等の分野において大幅に減少し、全体でも前年同期比で減少しました。押出類の国内需要も同様に、自動車や自動車用熱交換器等の分野で減少し、全体でも前年同期比で減少しました。

当社グループについて、板類の国内向け販売数量は、リモート需要や巣ごもり需要によりIT製品や日用箔等の分野は増加しましたが、総じて新型コロナウイルス感染拡大の影響により自動車をはじめ電気機器や建築等の分野は需要低迷し、前年同期比で大きく減少しました。また、押出類の国内向け販売数量も同様に減少しました。海外向け販売数量は、Tri-Arrows Aluminum Inc. やUACJ (Thailand) Co., Ltd. での缶材が堅調でしたが、国内の落ち込みが大きかったため、当社グループのアルミ圧延品総量では、前年同期を下回りました。

以上の結果、販売数量の減少やアルミ地金価格の下落等により、当第2四半期連結累計期間のアルミ圧延品事業の売上高については222,592百万円(前年同期比12.1%減)となりました。営業利益についても、販売数量の減少等により、2,046百万円(同57.3%減)となりました。

加工品・関連事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響が継続し、自動車や空調関連品等の分野における販売が減少したことにより、当期の加工品・関連事業の売上高は77,939百万円(前年同期比19.8%減)、営業損失は1,049百万円(前年同期は1,183百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

新型コロナウイルス感染拡大の影響による資金調達リスクに備え、事業活動に十分な資金を確保したことに伴い、現金及び預金、有利子負債が増加しておりますが、棚卸資産や営業債権債務の減少等により、当第2四半期連結会計期間末の資産については731,898百万円(前連結会計年度末比2.8%減)、負債については540,928百万円(同1.7%減)となりました。

純資産については、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上や為替換算調整勘定の減少等により190,970百万円(同5.8%減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①業績予想について

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による当社業績やアルミ地金価格等への影響を合理的に見積ることが困難なため未定としておりましたが、当第2四半期連結累計期間における業績を踏まえ、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき算定いたしました。売上高550,000百万円、営業利益3,500百万円、経常損失3,500百万円、親会社株主に帰属する当期純損失9,500百万円を見込んでおります。

なお、新型コロナウイルス感染拡大による販売等への影響は、徐々に回復に向かうものの、当社の事業活動に対する影響は年間を通じて発生するものと想定し、業績予想を算定しております。

また、当社は2019年9月30日に公表した「構造改革の実行」に沿って各施策を進めており、2021年3月期に発生が見込まれる構造改革損失（特別損失）については本業績予想に反映しております。

②配当予想について

当社グループは、配当の実施を利益還元の重要な施策と考えております。この実施につきましては、安定的かつ継続的に実施していくことを基本方針としながら、業績の動向、企業価値向上のための投資や競争力強化のための研究開発資金の確保、財務体質の強化等を総合的に勘案して判断してまいります。

2021年3月期の配当予想につきましては、当期の業績動向や新型コロナウイルス感染拡大による財務リスクへの備え等を総合的に勘案した結果、無配とさせていただきます。

なお、詳細につきましては、本日（2020年11月5日）公表しました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,741	51,642
受取手形及び売掛金	100,913	89,397
商品及び製品	45,608	39,355
仕掛品	50,153	42,772
原材料及び貯蔵品	40,158	42,015
その他	23,444	19,170
貸倒引当金	△98	△250
流動資産合計	288,919	284,102
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	72,353	80,023
機械装置及び運搬具（純額）	137,232	146,010
土地	104,957	104,725
その他（純額）	60,825	32,928
有形固定資産合計	375,366	363,685
無形固定資産		
のれん	39,148	37,068
その他	10,968	9,764
無形固定資産合計	50,116	46,832
投資その他の資産		
投資有価証券	13,036	12,984
その他	25,423	24,358
貸倒引当金	△75	△64
投資その他の資産合計	38,384	37,279
固定資産合計	463,866	447,796
資産合計	752,785	731,898

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	96,023	78,424
短期借入金	54,298	84,951
1年内返済予定の長期借入金	53,494	36,461
その他	60,619	44,002
流動負債合計	264,434	243,837
固定負債		
長期借入金	236,218	241,459
退職給付に係る負債	18,182	18,163
その他	31,234	37,469
固定負債合計	285,635	297,090
負債合計	550,069	540,928
純資産の部		
株主資本		
資本金	52,277	52,277
資本剰余金	80,318	80,318
利益剰余金	50,481	44,465
自己株式	△319	△323
株主資本合計	182,756	176,736
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71	431
繰延ヘッジ損益	△2,042	△1,901
為替換算調整勘定	10,079	4,103
退職給付に係る調整累計額	△2,501	△2,308
その他の包括利益累計額合計	5,607	325
非支配株主持分	14,353	13,909
純資産合計	202,716	190,970
負債純資産合計	752,785	731,898

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	314,608	264,608
売上原価	282,501	239,773
売上総利益	32,108	24,835
販売費及び一般管理費	28,680	25,957
営業利益又は営業損失(△)	3,428	△1,122
営業外収益		
デリバティブ評価益	376	1,109
雇用調整助成金	—	640
その他	1,081	810
営業外収益合計	1,457	2,559
営業外費用		
支払利息	3,531	3,315
その他	948	731
営業外費用合計	4,479	4,046
経常利益又は経常損失(△)	405	△2,609
特別利益		
固定資産売却益	12	20
ゴルフ会員権売却益	0	12
その他	406	5
特別利益合計	418	37
特別損失		
構造改革損失	897	1,220
その他	451	356
特別損失合計	1,348	1,575
税金等調整前四半期純損失(△)	△525	△4,148
法人税等	2,574	380
四半期純損失(△)	△3,099	△4,527
非支配株主に帰属する四半期純利益	290	524
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,389	△5,052

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△3,099	△4,527
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△447	360
繰延ヘッジ損益	△618	355
為替換算調整勘定	△861	△5,826
退職給付に係る調整額	△144	△89
持分法適用会社に対する持分相当額	△143	△342
その他の包括利益合計	△2,213	△5,543
四半期包括利益	△5,312	△10,070
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,067	△10,334
非支配株主に係る四半期包括利益	△245	263

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

優艾希杰東陽光（韶關）鋁材銷售有限公司は、新たに設立したため、第1四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

戴卡優艾希杰鋁汽車零部件有限公司は、新たに設立したため、第1四半期連結会計期間から持分法適用の範囲に含めております。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」（令和2年法律第8号）において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号 2020年3月31日）第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日）第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

当社グループでは、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて、四半期連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルス感染拡大による当社グループへの影響は、事業や地域によってその影響や程度が異なりますが、概ね1年程度に亘って続くものと仮定しております。

(連結子会社株式の譲渡)

当社は、当社連結子会社である株式会社UACJ物流の株式66.7%をセンコー株式会社へ譲渡することを決議し、2020年8月28日付で株式譲渡の契約を締結いたしました。本決定は、2019年9月30日に公表しました「構造改革の実行」の重点施策である事業の選択と集中の一環として実行するものです。なお、譲渡日は2020年12月1日を予定しており、本年度中に本件譲渡による特別利益の計上を見込んでおります。

(構造改革損失の計上)

タイ王国にて生産及び販売を行っている冷房専用エアコン室外機用オールアルミ熱交換器事業の譲渡を決議したことに伴い、当社連結子会社であるUACJ Extrusion (Thailand) Co., Ltd.において減損損失800百万円、当社において関係会社株式等評価損297百万円を計上しました。また、当社連結子会社である株式会社UACJ製箔の滋賀工場において、アルミ箔圧延の生産効率化を目的として一部の設備を休止したため、減損損失118百万円を計上しました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アルミ圧延品 事業	伸銅品事業	加工品・関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	219,315	15,597	79,697	314,608	—	314,608
セグメント間の内部売上高又は振替高	33,999	7,317	17,478	58,794	△58,794	—
計	253,314	22,914	97,175	373,403	△58,794	314,608
セグメント利益又は損失(△)	4,793	373	1,183	6,349	△2,921	3,428

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,921百万円には、たな卸資産の調整額98百万円、セグメント間取引消去△179百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,841百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アルミ圧延品 事業	加工品・関連 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	195,890	68,718	264,608	—	264,608
セグメント間の内部売上高又は振替高	26,702	9,221	35,923	△35,923	—
計	222,592	77,939	300,531	△35,923	264,608
セグメント利益又は損失(△)	2,046	△1,049	997	△2,119	△1,122

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,119百万円には、たな卸資産の調整額106百万円、セグメント間取引消去△73百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,152百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において「伸銅品事業」を譲渡したため、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「アルミ圧延品事業」、「伸銅品事業」、「加工品・関連事業」の3区分から、「アルミ圧延品事業」、「加工品・関連事業」の2区分に変更しております。